

テーマ

新教育課程の具体的な編成方針

大学入試センターでの 検討状況が明らかに

大学入学共通テストの検討状況

2020年10月、大学入試センターは新学習指導要領に対応した2025年度大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況を高校・大学関係者に示し、意見を聞いていくことを明らかにした。

検討状況についてのヒアリングによると、具体的なポイントは「出題教科・科目を現在の6教科30科目から7教科21科目に再編成」「『数学』『地理歴史・公民』『理科』の科目数を変更」「教科『情報』を新設」など（図1・P.64図2）。

多くの学校が20年度内に新教育課程の編成（仮案）を教育委員会に提出し、21年夏ごろまでに新教育課程の編成を完成するスケジュールのようだ。22年7月には各大学が25年度入学者選抜実施要項を発表するため、その段階で25年度入試に向けて新教育課程に若干の修正が必要になる可能性があるが、基本的には年度末までの情報を基に、新教育課程の編成作業を進めることになるだろう。

図1 2025年度大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況

2024年度入試まで（現行課程）

出題教科・科目 6教科 30科目	
国語	
数学	『数学Ⅰ』、『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ』、『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』、『情報関係基礎』
外国語	『英語』（リーディング・リスニング）
理科	理科①『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』 『地学基礎』 理科②『物理』『化学』『生物』『地学』
地理歴史・公民	『世界史A』、『世界史B』、 『日本史A』、『日本史B』、 『地理A』、『地理B』、 『現代社会』、『倫理』、 『政治・経済』、『倫理、政治・経済』

2025年度入試以降（新課程）

出題教科・科目 7教科 21科目	
国語	
数学	①『数学Ⅰ』 ②『数学Ⅰ、数学A』 ③『数学Ⅱ、数学B、 <u>数学C</u> 』
外国語	『英語』（リーディング・リスニング）
理科	8科目から5科目に 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』
地理歴史・公民	地歴公民は6科目から最大2科目選択 ①『地理総合、地理探究』 ②『歴史総合、日本史探究』 ③『歴史総合、世界史探究』 ④『公共、倫理』 ⑤『公共、政治・経済』 ⑥『地理総合、歴史総合、公共』
情報	新設

6科目から3科目に
数学Ⅱ・Bが数学Cとセットに。数学Ⅱを単体で受けられなくなる

「探究」が範囲に入る

*大学入試センター『令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項』、大学入試センターが高校・大学関係者に示した、新学習指導要領に対応した大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況へのヒアリングなどを基にベネッセ文芸総研、教育情報センターが作成。

育成を目指す資質・能力を 踏まえた新教育課程の編成を

新教育課程の編成にあたって25年度入試のことを意識するのは、生徒の志望を実現する教育環境を整える上では当然だろう。一方で、教育課程は、入試という視点だけではなく、これからの社会のあり方を踏まえた「自校において育成を目指す資質・能力」を念頭に検討・編成していくべきものであることも確かだ。

大学入試センターが示した25年度大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況からも、新学習指導要領の各教科・科目の趣旨を踏まえつつ、社会における様々な場面で活用できる力を身につけるために、幅広く学んでほしいという理念が読み取れる。例えば『国語』では、「現代の国語」において、報道の文章、会議の記録といった実用的な文章も題材となることから、実社会とリンクした応用的な国語力が求められ、『数学』では、数学を日常生活や社会の事象において活用する力を養うことを重視し、課題解決型の「思考力・判断力・表現力」が求められるだろう。さらに『情報』では、新学

習指導要領で推奨されている「教科を横断した学び」という面でも注目が集まっており、数学の統計分野と併せた学校設定科目を組んだり、情報モラルの指導を公民科と連携して行ったりする取り組みも考えていく必要があるだろう。

新学習指導要領の理念を踏まえると、新教育課程の編成においては、入試という観点のみならず、自校の生徒の実態の分析と、これからの社会を生きるために必要な資質・能力の育成という観点が必要になってくることは明らかだ。また、教師の働き方改革が進むとともに、課外活動の充実のため、生徒が自由に活用できる時間を増やしてあげたいという思いもある中で、週時間を増やすことなく必履修科目の単位増にどのように対応するかという現実的な課題も看過できないだろう。

このように、新教育課程の編成は、生徒、教師、学校の現状とあるべき姿を包括的に捉えながら進めることが学校現場に求められている。そうした点を押さえた新教育課程の編成の実践事例として、新潟県立長岡向陵高校の取り組みを次ページより紹介する。

図2 新教育課程の検討ポイント

出題教科・科目	着目ポイント・論点						
国語	出題範囲が必履修科目「現代の国語」「言語文化」に。 大問構成については未定。						
数学	<p>数学Ⅱ、数学Bに加え、数学Cがセットに。 文系の生徒にも「数学C」の履修が必要になるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）に対応した出題となり、このうち3項目の内容の問題を選択することになる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>数学Ⅱ</th> <th>数学B</th> <th>数学C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①いろいろな式 ②図形と方程式 ③指数関数・対数関数 ④三角関数 ⑤微分・積分の考え</td> <td>①数列 ②統計的な推測 ③数学と社会生活</td> <td>①ベクトル ②平面上の曲線と複素数平面 ③数学的な表現の工夫</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「数学C」には、「ベクトル」（現行では「数学B」）と「平面上の曲線と複素数平面」（現行では「数学Ⅲ」）が入る。</p>	数学Ⅱ	数学B	数学C	①いろいろな式 ②図形と方程式 ③指数関数・対数関数 ④三角関数 ⑤微分・積分の考え	①数列 ②統計的な推測 ③数学と社会生活	①ベクトル ②平面上の曲線と複素数平面 ③数学的な表現の工夫
数学Ⅱ	数学B	数学C					
①いろいろな式 ②図形と方程式 ③指数関数・対数関数 ④三角関数 ⑤微分・積分の考え	①数列 ②統計的な推測 ③数学と社会生活	①ベクトル ②平面上の曲線と複素数平面 ③数学的な表現の工夫					
地理歴史・公民	<p>地理歴史・公民は6科目から最大2科目選択。 必履修科目3科目の⑥に注目。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地理歴史・公民」は、「必履修3科目」や「必履修+選択」を組み合わせた6科目（最大2科目を選択）。 必履修科目のみの⑥「地理総合、歴史総合、公共」では、3科目から2科目選択。 <p>①～⑥で共通する科目については重複して受験することはできないので注意が必要。 (例) ⑥で歴史総合を選択したら、2科目めとして②や③は受験できないなど</p>						
情報	出題範囲は、共通必履修科目の『情報Ⅰ』。 CBT方式が適当としつつ、初年度は諸般の事情よりマークシート式を検討。						

*大学入試センターが高校・大学関係者に示した、新学習指導要領に対応した大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況へのヒアリングなどを基にベネッセ文教総研、教育情報センターが作成。

実践事例

生徒の実態・学校の課題や教育目標を踏まえて新教育課程案を編成

新潟県立長岡向陵高校

新潟県立長岡向陵高校では、教育目標の1つである科学的思考力の育成などを念頭に置き、2020年10月に大学入試センターから示された、新学習指導要領に対応した大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況も踏まえて新教育課程案を編成した。校長が作成した素案を基に、校内の組織である「教育課程検討委員会」を中心として行われた議論を見ていく。

Q1 どのような方針の下、新教育課程案を編成したのか？

A1 シンプルな教育課程とすることで、3年次の文理選択が可能に

鷲尾校長 新潟県高等学校長協会において、私が普通科の新教育課程のモデル案の作成を担当することになり、2019年の秋に、本校の教育活動を想定して新教育課程のモデルを公表しました。20年度には、それを職員会議で提示し、臨時休業中の時間も活用して、教頭や教務主任、各教科の代表者で構成する「教育課程検討委員会」が主体となって検討

を重ね、7月に基本的な方向性を決定しました。そして、10月に大学入試センターから示された大学入学共通テストの出題教科・科目等の検討状況を踏まえて調整をした結果がこの編成表(P.66・67図3)です。働き方改革の推進とともに、放課後の生徒の活動時間を確保するため、現行課程に比べて各学年の単位数を1単位ずつ減らして34単位としました。



教務主任
吉原 靖
よしはら やすし
教職歴32年。同校に赴任して3年目。理科。



教頭
夏見 康彦
なつみ やすひこ
教職歴31年。同校に赴任して1年目。数学科。



校長
鷲尾 雄慈
わしお ゆうじ
教職歴37年。同校に赴任して2年目。

吉原先生 論点の1つは、単位数減をどの教科が引き受けるかでした。こういった時は、自分の教科は減らしたくないという発想になりやすいのですが、「校長のモデル案を変更する場合は修正案を出す」とルール化したため、どの教科も全体像を踏まえて検討できました。また、現行課程からの変更が大きい教科については、私が教科会で変更の意図を詳しく説明して理解を求めました。

鷲尾校長 シンプルにすることを心がけました。そのねらいの1つは、1・2年次は一部の科目を除いて全生徒共通のカリキュラムとして、3年次からの文理選択に変更することでした。本校の生徒の多くは、学習

だけでなく、部活動や学校行事なども楽しんだ上で、大学に進学したいという気持ちで入学してきますから、必要な学習内容を明示し、学習にしっかりと向かわせたいと考えました。そこで、生徒が自由に選択する「ビュツフエ型」ではなく、必ず学ばせたい科目、言わば主菜は固定して、2、3品の副菜のみを選ばせる「定食型」を意識し、メニューを絞って一品ごとの質を上げようと考えました。2年間は文理別に異なる授業をする必要がなくなるなど、教師の負担も軽減され、生徒と接する時間が増えたり、教材研究を深めたりできます。生徒と教師の双方に利点があると考えます。

新潟県立長岡向陵高校

- ◎教育目標は、「聡明な判断」「強い力」「温かい心」。「高大接続改革に対応した教育活動」を重点目標の1つに掲げ、教育改革を積極的に推進。学びと部活動を両立する教育も重視する。
- ◎設立 1982(昭和57)年
- ◎形態 全日制/普通科/共学
- ◎生徒数 1学年約240人
- ◎2020年度入試合格実績(現役のみ)
国公立大は、長岡技術科学大、長岡造形大、新潟大、新潟県立大、新潟県立看護大などに29人が合格。私立大は、専修大、法政大、立教大、新潟医療福祉大、新潟青陵大などに延べ114人が合格。
- ◎URL <http://www.nagaokakoryo-h.nein.ed.jp/>

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
歴史総合	数学Ⅰ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	探究の時間	総合的な	LHR													
公共	数学Ⅱ	数学B	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	○文学 国語 ●物理 ●生物	探究の時間	総合的な	LHR														

数学Ⅲ ■数学探究	数学C	●物理 ●生物	化学 ■化学探究	■生物探究B	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	探究の時間	総合的な	LHR		
■地誌応用A ■日本史応用A ■世界史応用A	■数学セミナー	文系選択①	○文学 国語	■生物探究A	■化学探究	文系選択②	体育	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	探究の時間	総合的な	LHR

文系選択①（2単位）

- 数学C（国公立大学志望）倫理
- 文章表現
- 論理英語読解B

文系選択②（3単位）

- 数理情報セミナー（国公立大学志望）
 - 論理英語読解A（私立大学志望）
 - スポーツⅡ（その他）
 - 音楽Ⅱ（その他）
 - 美術Ⅱ（その他）
 - フードデザイン（その他）
- 希望者が少人数の場合、開講なし

鷲尾校長 本校では、教育目標の1つとして「科学的思考力」の育成を掲げています。Society 5.0の社会ビジョンの下、STEAM教育の重要性が語られる中、新教育課程では、文系を含めたすべての生徒に理数教育を強化したいと考えました。

吉原先生 2年次の途中で文転や理転を希望する生徒が、大学受験で課されない教科・科目の授業を真剣に受けないという問題がありました。そうした問題も、文理選択を3年次にすることで解決できます（図4）。

鷲尾校長 3年次の文理選択を見据え、2年次に「文学国語」か「物理」または「生物」を選択することになりますから、実質的な文理選択は2年次とも言えます。希望進路に対応できるよう、2年次の科目選択は、3年次の文理選択に向けたゆるやかな準備段階になっています。

A2

すべての生徒に「読解力」「科学的思考力」を育成することがねらい。特に3年次の履修方法を工夫した

Q2

3年次に文理選択をさせることになったねらいと工夫は？

図4 3年次に文理選択を行うことのメリットとデメリット

メリット

- 毎年一定数いる2年次の途中で理系から文系進学に希望を変更する生徒（いわゆる文転）をゼロにすることができる。
- 現2学年の理系には既に文転を希望している生徒がいるが、現行の教育課程では3年次も理系を選択しなければならない。年々そうした生徒は増加している。
- 少数ではあるが、文系から私立理系への変更を希望する生徒（私立大薬学部等に化学を選択させることができる）。
- 現3年生には文系で私立大薬学部を希望し、化学の進学補習に参加している生徒がいる。他に化学+理科基礎で受験可能な国公立大学（医学部看護学科等）にも対応可能となる。
- 2年次は文理別のクラス編成をせず、文学国語クラス、物理クラス、生物クラス、混合クラス等、多様なクラス分けが可能になる。

デメリット

- 文理選択の最終決定が遅いため、学部学科等の志望決定が遅れてしまう可能性がある。
- 2年次に文理別のクラス編成をしなかった場合、文系、理系としての進路意識が低下する可能性がある。

*学校資料を基に編集部で作成。

図3 新教育課程の編成案(2020年11月時点)

	1	2	3	4	5	6	7
1年	現代の国語		言語文化			地理総合	
2年	論理国語		古典探究		●○地理探究 ●○日本史探究 ○世界史探究		
3年 理系	論理国語		古典探究		■地誌応用 B ■日本史応用 B 政治・経済		
3年 文系	論理国語		古典探究		政治・経済		

* □は必修科目。
* 学校設定科目を■で示す。
* ●は3年で理系、○は3年で文系に進む予定者の選択科目。
* 3年理系---上段は、主に理工系学部などに進む生徒、下段は農学部、看護系学部などに進学する生徒が選択。
* 学校資料を基に編集部で作成。

Q3

各教科の編成方針や工夫は？

A3

生徒の実態や課題を基に、バランスのよい指導を行い、大学入試への対応力もしっかり育むカリキュラムを意識

鷲尾校長 高校で学力差が広がります。現行課程では1年次の「国語総合」は5単位としていましたが、新教育課程で

も1年次の「言語文化」を3単位として古典の指導に力を注ぎます。
夏見教頭 国語に限らず各教科の基礎となる資質・能力である読解力を

* ベネッセが提供する、スコア型英語4技能検定

より詳しい内容は、『ハイスクールオンライン』でお届けします！



新教育課程の具体的な編成方針
・新潟県立長岡向陵高校の実践事例
新教育課程の参考になる特設コーナー設置
有識者による新課程の動画解説も満載

養うため、2・3年次に「論理国語」を配当して読解力をしっかりと育み、大学入学共通テストの英語・国語などの長文読解にも対応できるようにしたいと考えています。「古典探究」を履修としたのは、大学入学共通テストでの出題を見据えてのことです。

鷲尾校長 英語力の低さも、本校生徒の課題の1つです。そのため、GTEC(*)を導入するなどして英語力の伸長に努めており、全学年で「論理・表現」を履修としました。

吉原先生 大学入学共通テストでの出題が検討されている「数学C」は、3年次の理系は必修とし、文系は主に国立大学志望者が選択できるようにしました。大学入学共通テストの実施時期を考えると、12月までに教科書を終わらせる必要があり、指導の工夫が求められます。

夏見教頭 「公共」を2年次の履修としたのは、「家庭基礎」と併せて、18歳になる直前に主権者教育を行いたいからです。「公共」を1年次にする場合は、「地理総合」「歴史総合」のどちらかを2年次にする必要が生じますが、「地理総合」「歴史総合」は同時期に展開するほうが学習のつながりが深まりやすいと考えました。

鷲尾校長 1年次に「情報I」を置いたのは、早期に情報活用能力を育成して他教科の学習と結びつけるためです。情報活用能力は、「家庭基礎」での表計算ソフトを用いる栄養計算や、数学の統計分野で生かれますし、探究学習でも活用できる資質・能力です。新教育課程は、教科のつながりも十分に踏まえて編成し、多様な資質・能力を効果的に育成できるものにしていきたいと考えています。

一疑問や課題を解決!実践につながる!

新課程レポート

ベネッセ教育情報センター

『ハイスクールオンライン』トップページ > 入試改革/新課程 からアクセス